



台湾観光客を盛岡へ！ 「盛岡・八幡平」誘客キャンペーン

盛岡市商工観光部観光課

盛岡市は、台湾観光客の新たな市場開拓を目指して、台中市および高雄市において、盛岡市長をはじめ、岩手県盛岡広域振興局や観光関係団体とともに官民一体となった観光プロモーション活動（商談会）を平成 26 年 5 月に実施しました。

また、同年 10 月に台中市で開催された国際旅行展覧会に併せて、盛岡観光コンベンション協会、盛岡商工会議所（盛岡さんさ踊り実行委員会）関係者が訪し、地域の祭りと広域観光の拠点性を観光 PR の主眼とした誘客キャンペーン活動を行いました。

背景・目的

本市を含む岩手県内の自治体による台湾観光客誘致活動は、これまで台北市を中心に行ってききましたが、台湾からの一層の誘客促進に向けて、新たな市場の開拓が課題となっていました。また、岩手県では県内唯一の空港である「いわて花巻空港」への台湾からの国際定期便就航に向けて誘致活動を行っていますが、国際定期便就航のためには、インバウンド・アウトバウンドの双方向需

要の拡大が必要です。そのため、台湾国内における新規観光客市場を探し出し、観光 PR 活動を通じて一層の誘客促進を図るとともに、県内において台湾への交流訪問などの旅行需要の掘り起こしを行うことで、双方の観光交流促進を図る必要がありました。

東日本大震災以降、盛岡市を訪れる外国人観光客は半減しました。平成 24 年の来訪数も若干の回復に留まりましたが、平成 25 年に入り、国内各地で外国人観光客の来訪が著しく増え、活況を呈しています。そうした中で、いわて花巻空港への台湾からの国際チャーター便数は回復傾向にあり、台中市において「盛岡さんさ踊り」を積極的に発信するなどの誘客 PR 活動によって、当市を訪れる観光客の増加や両市間の交流が活発になることが期待されていました。

実施内容

○現地観光機関の訪問とトップセールス

平成 26 年 5 月 26 日から 28 日までの間に、次の機関を訪問しました。

- ・台中市旅行商業同業組合
- ・交流協会高雄事務所
- ・交流協会台北事務所
- ・台北市旅行商業同業公会
- ・東南旅行社

また、次の 2 か所で商談会を開催し、トップセールスを行いました。合わせて約 40 人のエージェントが参加しました。

- ・ 5 月 26 日 18:00～
台中金典酒店（台中市）
- ・ 5 月 27 日 18:00～
高雄・君鴻国際酒店（高雄市）



「盛岡さんさ踊り」をステージで披露する様子



来場者に観光 PR する様子

各エージェントから、盛岡・八幡平地域の特徴や体験プログラム、食事メニューに関する問い合わせが多くありました。

特に、観光素材の中では、わんこそば、南部鉄器などがよく知られており、祭り（盛岡さんさ踊り、チャグチャグ馬コ、秋祭山車）、桜（石割桜、盛岡城跡公園、高松公園）、歴史的建造物、温泉および伝統工芸品などに対して関心を示す人が多数ありました。

「盛岡冷麺」に関しては、これまで台湾や日本の関係者から、台湾の食習慣で冷たい食事は身体によくないとされ、一般的には好まれず、台湾向けの観光素材として難しいと聞いていたことから、積極的な PR を控えていました。しかし、高雄市の通訳とエージェントから、高雄市は熱帯に属し、高温多湿な気候のため、冷たい料理や冷やした麺を食べる習慣があるという情報を得たので、今後の PR や情報発信の際に検討が必要だと感じました。

○旅行展でブース PR

2014 台中国際旅行展覧会の概要

期 間：2014 年 10 月 3 日～6 日

会 場：台湾 台中世界貿易センター

来場者数：4 日間計 11 万 9,426 人

(主な内容)

・観光 PR ブース（2 小間）に「桜と雪の回廊」をテー

マにしたパネル設置

- ・盛岡さんさ踊りの顔出しパネルの設置
- ・観光ポスターの掲示、ノベルティやリーフレットの配布
- ・モニターを設置し、DVD による地域映像の放映
- ・スタッフは地域の祭衣装を着用
- ・盛岡さんさ踊りのステージ演舞 4 日間で計 6 回
- ・盛岡・八幡平の紹介ステージ 1 回

台中国際旅行展覧会では、広域連携による取り組みで「盛岡・八幡平」の魅力を広く発信しました。特に、盛岡を代表する夏祭り「盛岡さんさ踊り」のミスさんさ踊りなどを派遣しましたが、この「盛岡さんさ踊り」には、台中市を拠点とする台湾観光舞踊団が毎年参加していることから、祭り、伝統芸能を通じた交流をもとに、現地でも積極的な PR 活動を行うことができました。

将来的な展望

台中市、高雄市ともプロモーションの感触はよかったですと言えます。エージェントや通訳が日本の文化や習慣に詳しいことや、市民もフレンドリーで親密度が非常に高いことから、市場拡大の可能性は高く、将来性は有望と感じました。台湾で人気が高い観光素材（雪、桜、日本食、歴史、伝統文化など）は、本市のセールスポイントであり、今後も台湾からの誘客と観光交流の促進に向けて、台中国際旅行博覧会への継続参加を予定しています。将来的には、台湾における物産などの販路開拓、教育旅行誘致にも取り組みたいと考えております。



観光 PR ブースでリーフレットを配布する様子